

総合的な学習の時間

第6学年

竹原市立吉名学園

指導者 渡邊 夕起
藤井 稔弘

吉名町の歴史を調べて伝えよう ～歴史秘話探索プロジェクト～

1 単元のデザイン

単元の目標

地域の歴史や伝統文化について調べ、伝える活動を通して、地域の歴史の継承に力を注ぐ人々の願いや努力などを知り、それらを伝えるために伝える内容を選んだり伝え方の工夫を考えたりすることができるようにする。また、自分たちが住む地域に対しての愛着を深めたり、自らの生活や行動に生かしたりすることができるようにする。

単元について

本単元の主な活動は、「吉名町に行きたい。」と思ってもらえるような吉名町の歴史めぐりのイベントを企画し、実行することである。本単元では児童が様々な人を巻き込んだイベントを企画し、実行する。イベントを実行するためには、手順などの計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めなければならない。また、様々な人を巻き込むためには、筋道の通った話の構成を考え、効果的な資料を提示するなどの工夫をしながらイベントの魅力などを伝える必要がある。吉名町の歴史を観光客に知ってもらうためには、自分たちが吉名の歴史についての理解を深め、相手の反応を踏まえてその場で表現を変えたり、言葉を補ったりする力が必要になってくる。そのような過程で活動を計画・推進する力や情報発信の技能、表現する力を育成することができる。

本単元で扱う材は「吉名町の歴史」である。吉名町には、800年以上も前からある光海神社、地域の偉人である池田勇人さんの家、1895年からレンガの生産を始めた松本煉瓦株式会社、昔日本一になったジャガイモ、塩田のまち竹原の歴史を伝える塩づくり工房など、歴史あるものがたくさんある。それらを調べることを通して、郷土を誇りに思う心、社会をよりよくしたいという思いを育てることができる。

共創の視点

吉名の歴史や魅力を伝え、「行ってみたい」と思える吉名にしたいという児童の思いから単元が立ち上がる。探求の過程では、特に、目的が同じ異学年との共創、自分たちと同じ思いをもった地域の歴史の継承に力を注ぐ人々との共創が期待できる。

児童生徒の実態

本学級の児童は、吉名の歴史についてあまり知らない。「ジャガイモが有名であったこと」「池田元総理大臣がいたこと」など、これまでの総合的な学習の時間に学習したことや昨年度の6年生が学園祭で発表していたことを知っている程度である。

プレゼンテーション力については、自分の意見を相手に伝える際、話す順番を考え、効果的な資料を提示するなどの工夫をしたり、相手の反応を見ながら話し方を工夫したりできている児童は少ない。

活動を計画・推進する力については、アンケートで、「課題解決に向けて、必要な準備物、解決方法や手順などの計画を立てることができる」と肯定的な評価をしている児童がほとんどであるが、解決方法や手順などの計画を立てる際に様々な視点から考えることができている児童は少ない。

ICT活用力については、これまで各教科や総合的な学習の時間にインターネットを活用した情報収集やプレゼンテーションソフトを活用した発表を行っており、必要な情報を収集するために、複数のキーワードでのウェブ検索をしたり、プレゼンテーションアプリを用いて写真や言葉を入れてプレゼンテーション資料を作成したりすることはできている。しかし、「分かりやすくする」「印象付ける」などの意図に応じて文字やイラストの入れ方を工夫する力は十分ではない。

指導の工夫

(1) 単元づくり五つのポイントの具現化

- 巻き込む活動 … 目的を達成するためのイベントを実行させるためには、様々な方の協力が必要になってくることに気付かせる。塩づくり体験を行っている NPO 法人ネットワーク竹原の方、松本煉瓦株式会社の方、ジャガイモ掘り体験を行っている方、光海神社の方、瀬戸内ゴルフリゾートの方など、様々な人を巻き込むことが考えられる。様々な人の立場に立ち、見通しをもって計画的に活動を進めていかなければ、巻き込むことが難しくなる。どのような手順や方法で活動を進めていけば、自分たちの活動に周りの人を巻き込むことができるかを考えさせ、見通しをもって計画的に活動を進めることができるようにする。
- 「本物」からの学び… イベントの集客の仕方、歴史ガイドの仕方などを考える際には、竹原市観光協会の方やたけはら観光ガイド会の方から学ぶことで、話す順番を考え、効果的な資料を提示するなどの工夫をしたり、相手の反応を見ながら話し方を工夫したりすることができるようにする。
- 再挑戦の場の設定 … イベントを行った後、アンケートや巻き込んだ方の声、自分たちの振り返りなどをもとに改善を加えることができるよう、再挑戦の場を設定する。

(2) ICT活用

- 様々な方を巻き込むためには、プレゼンテーション資料を作成し、イベントの目的や魅力などを伝えることが考えられる。また、イベントの集客をする方法としては、チラシ作りや動画づくりが考えられる。その際、身の回りのチラシや動画と自分たちの作成したものを比較させ、「分かりやすくする」「印象付ける」などの意図に応じて文字やイラストの入れ方を工夫させる。

2 単元の評価規準

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 吉名町の歴史や伝統文化のもつ特徴、継承に力を注ぐ人々の願いや努力を理解している。理解の深まりが探究的な学習をしたことの結果だと気付いている。</p> <p>イ 「分かりやすくする」、「印象付ける」などの意図に応じて文字やイラストを入れながら、様々な人の協力を得るためのプレゼンテーション資料や、集客するための宣伝の動画を作成している。</p>	<p>ウ 体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報や自分たちの興味・関心、地域の方の思いや願いを基に課題を設定し、課題解決に向けた企画（アイデア）を出している。</p> <p>エ 「吉名町の歴史や魅力を伝え、観光客を増やしたい」という願いの実現に向けて、教師や地域の方の助言などを参考に、必要な情報や準備物、解決方法や手順などの計画を立て、見直しをもって計画的に活動を進めている。</p> <p>オ 事前に考えた計画（質問項目など）に沿うだけでなく、その場での気づきを基に別の視点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。</p> <p>カ インタビューや実地調査などで得た様々な情報を、比較・分類したり、関連付けたりして、特徴などを見付けている。</p> <p>キ 話の内容が明確になるように筋道の通った構成を考え、効果的な資料を提示するなど工夫しながら、協力してほしい人にイベントの魅力伝えていく。相手の反応を踏まえてその場で表現を変えたり言葉を補ったりするなどして、観光客に吉名町の歴史を伝えている。</p> <p>ク 協力者や観光客の立場に立ち、イベントの内容やガイドの仕方等、吉名の歴史や魅力を伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。</p> <p>ケ イベントの内容や方法を見直し、よい点や改善点等を考えて伝えるとともに、自己評価や他者評価を基に改善している。</p>	<p>コ 課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。</p> <p>サ 課題の解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図ろうとする。自他のよさを生かしながら協働して活動を進めようとしている。</p> <p>シ 活動を振り返る中で、自分や友達、地域の歴史や伝統文化のよさに気付くとともに、自分の個性（長所や短所など）を認識し、自分の将来を考えて、今後の自分の目標を具体的に見出そうとしている。</p>

3 指導と評価の計画（全 70 時間）

時	学習活動	評価規準 (評価方法)	関連する教科等
1 ～ 6	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の歴史や文化遺産、伝統文化について、調べる。 ・昔の地図を見たり、光海神社で吉名町の歴史についての話を聞いたりする。 ・自分たちや光海神社の方などの吉名に対する思いを話し合い、これからやってみたいことを話し合う。 ・「吉名町の歴史や魅力を伝え、観光客を増やそう」という単元の課題を設定する。 	(2) ウ (2) カ (行動観察、 記述分析)	
7 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> ●吉名町の歴史や魅力を知ってもらえるイベントを企画する。 ・「吉名町の歴史や魅力を伝え、観光客を増やしたい」という願いを実現できるイベントを考える。 ・イベントを実現させるために必要なことを話し合い、必要な準備や手順を見通す。 ・様々な人に協力してもらおうための方法を話し合う。 	(2) エ (2) ク (3) サ (行動観察、 記述分析)	国語科「いざというときのために」
13 ～ 25	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの実現に向けて協力してほしい人に自分たちの思いを伝えるための準備をする。 ・必要なデータや情報を集める。 ・取組の目的やその企画の魅力などを理解してもらうために必要だと思う資料を作成する。 ・作成した資料のよい点や改善点を出し合い、それを基に修正を行う。 ・先生方に協力してほしい人の役をしてもらい、自分たちの思いを伝え、新しい角度からの指摘をいただき、それを基に提案を修正する。 	(1) イ (2) エ (2) オ (2) ケ (3) サ (行動観察、 記述分析、 作品分析)	国語科「いざというときのために」
26 ・ 27	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの実現に向けて協力してほしい人に自分たちが考えたイベントを提案する。 ・自分たちの考えたイベントを提案するとともに、協力してもらいたいことを伝える。 ・質問されたことに対しても対応する。 	(2) キ (行動観察)	
28 ～ 32	<ul style="list-style-type: none"> ●提案の際に受けた指摘を基に改善案を話し合って整理し、実行に向けて企画の修正を行う。 ・改善案を出し合い、整理する。 ・企画を修正し、今後の進め方について協議する。 	(2) カ (3) コ (3) サ (行動観察、 記述分析)	
33 ～ 50	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちが考えたイベントの実現に向けて、準備を進める。 ・吉名の歴史について調べる。 ・イベントの実行に向けて役割分担を行い、グループ毎に準備を進める。 (宣伝班・ガイド班・塩づくり体験班など) ・協力していただく方々と最終打ち合わせを行う。 	(1) ア (1) イ (2) エ (2) オ (2) ク (3) サ (行動観察、 記述分析、 作品分析)	社会科「天皇を中心とした政治」 「貴族が生み出した新しい文化」
51 ～ 56	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントを実行する。 	(2) キ (3) コ (3) サ (行動観察)	
57 ～ 62	<ul style="list-style-type: none"> ●改善する。 ・アンケートや巻き込んだ方の声、自分たちの振り返りなどをもとに改善を加える。 	(2) カ (2) ク (2) ケ (2) コ (行動観察、 記述分析)	
63 ～ 68	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントを実行する。 	(2) キ (3) コ (3) サ (行動観察)	
69 ・ 70	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返り、自分たちの成長や今後の地域について考える。 	(1) ア (3) シ (記述分析)	

4 本時について

(1) 本時の目標

瀬戸内ゴルフリゾートの方の協力を得るための作戦を話し合う活動を通して、瀬戸内リゾートの方の立場に立ち、何をどのように伝えたら協力したいと思ってもらえるのか等、協力を得るための方法を考えることができる。

(2) 本時の評価規準及びルーブリック（(2)ク 発想する力・工夫する力）

S（期待以上）	A（十分満足できる）	B（概ね満足できる）
協力者の立場に立ち、何をどのように伝えたら協力したいと思ってもらえるのかだけでなく、 <u>説得力をもたせるための方法についても考え、工夫している。</u>	協力者の立場に立ち、何をどのように伝えたら協力したいと思ってもらえるのか、 <u>協力を得るための方法を考え、工夫している。</u>	協力者の立場に立ち、「何を伝えたらよいか」、「どのように伝えたらよいか」のどちらかだけ、 <u>協力を得るための方法を考え、工夫している。</u>

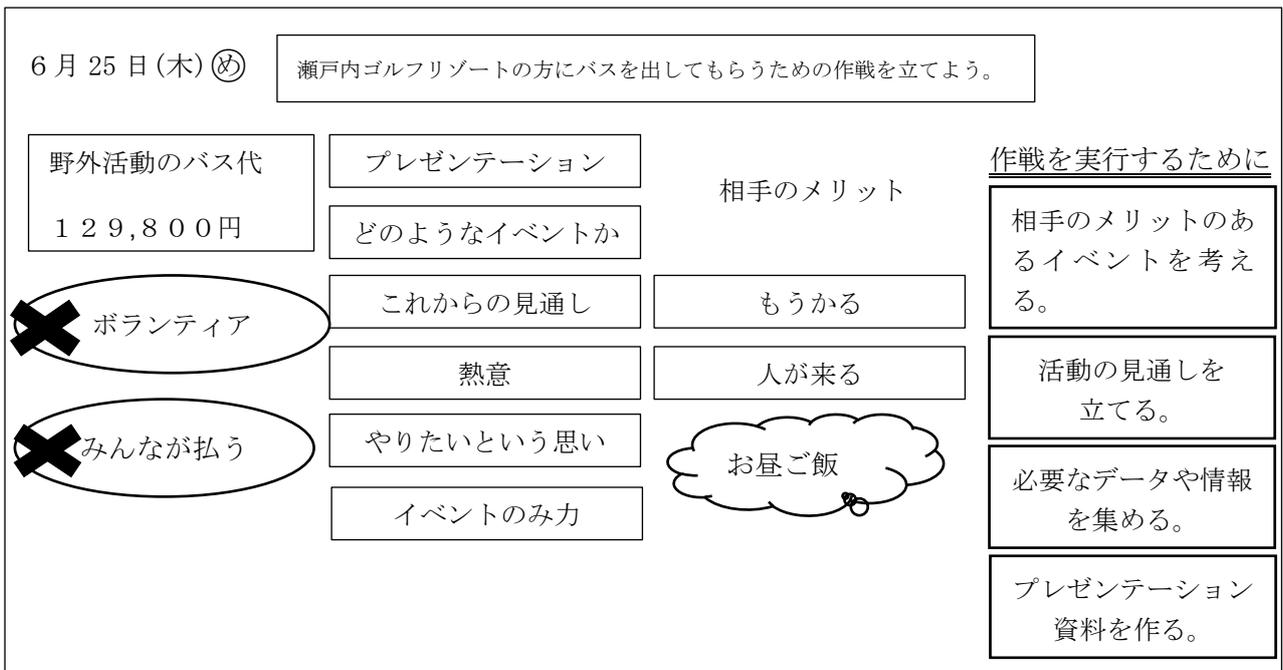
(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点（◇） （◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて）	評価規準 （評価方法）
1 これまでの学習を想起する。	◇これまでの学習を想起できるように、これまでの学習過程を見通せる掲示物を提示しておく。	
2 本時の課題を確認する。	◇野外活動でかかったバスの代金を伝えることで、ボランティアですぐにバスを出してもらえないことに気付かせ、説得させるための方法を本気で考えられるようにする。 瀬戸内ゴルフリゾートの方にバスを出してもらおうための作戦を立てよう。	
3 どのような視点で考えたらよいか考える。	◇イベントを企画する際に「自分が観光客だったら…」と考えたように、本時では「自分が瀬戸内ゴルフリゾートの方だったら…」という視点で考えるとよいことに気付けるよう、掲示物を整えておく。	
4 作戦を考える。	◇意見交流する際に、アイデアを比較・分類しやすいように、短冊に自分の意見を書かせる。 ◆作戦が思いつかない児童には、イベントの目的を再確認する。 ①吉名町の歴史を伝える。 ②吉名町の魅力を伝える。 ③「行ってみたい」と思える吉名にする。	
5 考えた作戦を交流し、よりよい説得の仕方を導き出す。	◇アイデアを比較・分類させることで、よりよい説得の仕方を導き出せるようにする。	

協力者の立場に立ち、何をどのように伝えたら協力したいと思ってもらえるのか、協力を得るための方法を考え、工夫している。
(行動観察、記述分析)

<p>6 今後の活動の見通しを立てる。</p> <p>7 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇「自分たちの企画をプレゼンテーションする。」「今後どのように活動を進めていこうと考えているかを伝える。」「自分たちの思い、熱意を伝える。」「自分たちも目的を達成でき、瀬戸内ゴルフリゾートの方にもメリットがあることを伝える。」など、様々な視点で考えられるようする。そのため、出ていない視点があれば、周りの教員に瀬戸内ゴルフリゾートの方の役をしてもらい、新たな視点に気付けるようにする。</p> <p>◇作戦を実行していくために、これから何をしていかなければならないのか考えさせる。</p>	
--	---	--

(4) 板書計画



(5) 準備物

- 電子黒板
- 短冊